

緊急性の高い頭痛

注意すべき頭痛の症状

- ・突然の激しい頭痛(頭痛の自覚には個人差があります。周囲からみて、軽そうにみえても安心できません)と重篤感
- ・反復性でない頭痛(過去に経験した記憶がないような頭痛の場合には要注意です)
- ・増強傾向のある頭痛(秒・分・時間・日単位のもの。週・月単位での増強も安心できません)
- ・発熱・吐気・嘔吐をともなう頭痛(少しでも頭痛をともなっている場合には、風邪・呼吸器疾患・消化器疾患に伴う症状と、早計に自己判断しないようにしましょう)
- ・意識障害(ぼんやりする程度も含みます)・言語障害(話し方が不自然なもの)・運動マヒ(手足の動きが悪いこと)・知覚障害(顔面や手足のしびれ感)をともなう頭痛(運動マヒが軽い場合には、患者本人が気付かない場合もあるので周囲の方は注意しましょう)
- ・複視(物が二重になって見えること)・視力障害・視野障害をともなう頭痛

下記の症状がある人も要注意です

- ・全身性の基礎疾患のある方
- ・作業・労働(運動)環境に問題のある方
- ・薬物使用歴のある方(特に鎮痛剤や向精神薬を服用している方)
- ・40才以上になって初めて自覚する(これまで経験のないタイプの)頭痛



頭痛の分類

- ① 一次性頭痛(片頭痛・緊張型頭痛・群発頭痛などが代表的な疾患。多くは慢性頭痛とも呼ばれ、診断や治療の遅れが生命予後に影響することは殆どありません)
- ② 二次性頭痛(クモ膜下出血・脳出血などの脳血管障害、脳腫瘍、急性硬膜外血腫・慢性硬膜下血腫などの頭部外傷、脳炎・髄膜炎・側頭動脈炎などの感染症、緑内障などの眼疾患、副鼻腔炎などの耳鼻科疾患、熱中症、薬物の乱用などが代表的な疾患。診断や治療開始の遅れが生命予後や後遺症に影響することが少なくありません)
- ③ 頭部神経痛や顔面痛などその他の疾患

緊急性のある場合(119番通報について)

- ・突然の激しい頭痛で増強する時や、発熱や嘔吐を伴う場合、意識障害をおこすような頭痛では救急車を呼んでください。

新潟市急患診療センター(電話025-246-1199)

<http://www.niigata-er.org>